

R7 学校教育自己診断（分析）

○診断結果

*番号は診断（質問）番号、（ ）は「よくあてはまる」「あてはまる」を合算

		診断（質問）内容*		
		児童生徒（回答率 26%）	保護者（回答率 40.5%）	教職員（回答率 91%）
指導・支援	授業	1 学校は楽しいですか？(84.9%) 2 授業は楽しいですか？(83.7%)	1 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。(88.8%) 2 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(91%) 3 学校は、保護者のニーズを踏まえた教育活動に取り組んでいる。(90.3%) 5 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。(58.9%) 6 学習の内容・学校生活の様子を、懇談や連絡帳などによって、知ることができる。(97.1%)	1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。(95.1%) 2 教育課程の編成にあたって、教育目標・めざす子ども像の実現に向けたものとなるよう検討・改善をすすめている。(84.5%) 3 各年度の教育計画の作成や評価の在り方について、教職員で話し合っている。(83.6%) 4 年間の学習指導計画について、各教科、学習グループの担当者間でよく話し合っている。(76.2%) 10 学習形態の工夫・改善を行っている。(94.3%) 25 教職員は、児童生徒の豊は情操を育む教育活動を実施している。(85.3%)
	行事	14 【遠足】【校外学習】【宿泊学習】【修学旅行】は、楽しい(楽しかった)ですか？(84.9%) 15 運動会やなんば祭の準備や勉強は楽しいですか？(80.2%)	14 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。(97%) 15 学校は、子どもたちが、学校行事に参加しやすい工夫をしている。(95.5%)	26 学校行事は、児童生徒が主体的に参加しやすいように工夫している。(94.2%)

指導・支援	キャリア教育	8 大人になったときの話や勉強はありますか？(61.6%)	11 学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。(67.9%)	17 学校は、児童生徒の発達段階や生活年齢に応じた、自立と社会参加に向けた「キャリア教育」を推進している。(88.6%) 18 児童・生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。(87.7%)
	情報	19 勉強でアイパッドを使うことがありますか？(74.4%)	12 学校は、子どもが教育活動で、タブレット端末を、効果的に活用できるように工夫をしている。(68.7%)	37 児童生徒用タブレットを授業などで活用している。(90.1%)
	生活指導	10 先生は自分や友だちが困っていると、助けてくれますか？(84.9%) 11 担任の先生以外で、困ったことや不安なことを話せる先生はいますか？(67.4%) 12 先生は、ルールやマナー、約束について、教えてくれますか？(93%)	8 学校は、いじめについて、子どもが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。(96.2%)	11 この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。(76.3%) 15 生活指導において、家庭（保護者）との連携ができています。(91.8%) 16 生活指導において、関係諸機関と緊密な連携ができています。(80.3%)
アセスメント		7 先生は、わからない時や困った時、わかりやすく説明をしてくれますか(81.4%) 16 先生は、あなたが困ったときや落ち着かないとき、そばにいてくれたり助けてくれたりしますか？(79%)	4 学校は、子どもの障がいについて、よく理解している。(93.3%) 16 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画【学校生活の記録】」について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成されている。(97.7%) 17 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画【学校生活の記録】」について、保護者に開示し、説明をしている。(94.8%)	5 指導内容については、児童生徒の実態に合うように、教職員間で話し合いがもたれている。(92.6%) 6 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かされている。(73.7%) 7 学校は、教育活動全般について、児童・生徒や保護者の願いによく応えている。(93.5%)

アセスメント		18「個別の教育支援計画」「個別の指導計画【学校生活の記録】」の評価について、子どもの学習状況や達成度をふくんで、適切かつ公平に評価されている。(94.8%)	14 児童生徒の特性や実態に応じた指導支援を行っている。(95.1%) 24 アセスメント結果は、個別の指導計画に活かされている。(79.6%)
人権	4 先生は、自分がかんばったことを認めてくれますか？(88.3%) 5 先生は、自分や友だちを大切にしてくれますか？(86.1%) 9 命の大切さの学習をしたことがありますか？(57%) 13 先生は、自分や友だちを大事にすることを、教えてくださいか？(84.8%)	9 学校は、日常の教育活動において、子どもの人権を、十分に尊重している。(98%) 10 学校は、教育情報について、個人情報厳守し、提供の努力をしている。(88.8%) 13 学校は、子どもに生命を大切にすることや、社会ルールを守る態度を、養おうとしている。(86.5%)	9 幼児・児童・生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。(95.9%) 13 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。(81.2%) 19 児童生徒や地域の実態に基づいた人権教育を行っている。(87.7%) 20 人権尊重の教育の推進にあたり、外部講師や諸施設の活用が進められている。(82%)
防災	17 先生は、地震や火事などが起こった時、どうすればよいかを教えてもらいましたか？(82.5%)	20 学校より、地震や台風などの災害が起きた場合の対応について、子ども・保護者へ知らされている（知る方法がある）。(90.3%) 22 災害に備え、防災計画の見直しと充実を図っている。(67.1%)	21 学校の諸活動において、安全指導が徹底している。(90.2%) 22 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。(91%) 23 学校教育のあらゆる場を通じて、防災教育を行っている。(90.2%)
相談	3 先生は、あなたの話をていねいに聞いてくれますか？ (83.8%) 6 先生はいじめについて困っていると真剣に対応してくれますか？(58.2%)	7 学校は、子どものことについて、保護者の悩みや相談に、適切に対応してくれる。(87.3%)	8 学校は、子どものことについて、保護者の悩みや相談に適切に対応している。(97.6%)

相談			12 教育相談体制が整備されており、幼児・児童・生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。 (73.8%)
学習環境	18 学校は、色んなものがそろっていて、過ごしやすいですか？(84.7%)	21 学校の施設・設備は、学習環境面で満足できる。(90.3%)	35 児童・生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。(71.3%)

○考察

指導・支援	授業	・児童生徒にとって、学校が楽しいと思える授業が展開できている。 ・日々の授業等の様子について、保護者と学校のやりとりができています。 ・学習指導計画については、主担の教員が主導となり作成・授業の展開を行っているため、グループ間での話し合いはやや低い数値となっている。
	行事	・児童生徒の実態に応じた校外での学習を実施できている。 ・保護者の参観（来校）の数値が高い。
	キャリア教育	・キャリア教育の概要やその指導・支援について、少しずつ浸透しつつある。 ・進路に関する指導・支援が適切に行われている。
	情報	・タブレットは活用されているが、その活用方法についてはさまざまである。 ・情報モラル教育については、小学部を除き実施。（1月末現在）
	生活指導	・学校生活、社会生活上必要なルールやマナーにおける指導ができています。 ・必要に応じて、不適切な言動についての指導が的確に行われている。
アセスメント	・保護者と連携し、児童生徒の実態について情報共有ができています。 ・アセスメントをもとにした、学習活動が展開されている。	
人権	・児童生徒の人権を尊重し、教育活動が行われている。 ・個人情報の取り扱いについては、保護者への詳細な説明がやや不足している。	

防災	・避難訓練等の定期的な実施により、児童生徒・教職員の防災への意識が定着しつつある。 ・防災計画は年度ごとに改訂している。
相談	・学校生活および家庭生活について連絡帳等で情報交換・共有をし、必要に応じて対応している。 ・いじめ（疑いを含む）については、迅速に対応している。
学習環境	・学校生活に最低限必要なもの、設備が整っている。

○まとめ

【教育活動全般を通して】

保護者からの本校の教育活動についての理解・協力・支援をいただいていること、児童生徒が学校生活を楽しんでいることがこの結果からうかがえる。その要因として、次のことが挙げられる。

- ・担任を中心とした教員の保護者への丁寧な対応で保護者からの一定の信頼をいただいている
- ・児童生徒の実態を把握し、授業や行事を実施している
- ・児童生徒の人権を尊重しつつ、課題や問題等について保護者と連携しながら迅速に対応している

しかしながら、児童生徒の数％は学校の授業や行事に対して否定的（わからないを含む）な回答があるため、今後はそれらを受けて、児童生徒がより良い学校生活を送ることができるように検証・計画・実行していく必要がある。

【指導・支援の方法について】

タブレット端末（ipad）の活用は授業中や休憩時間等様々な場面で活用されている。しかし、授業での活用の頻度については、学習グループ内の児童生徒の実態に応じたアプリケーションが限られていること、授業内容に関係のないものへの興味（インターネット接続、動画再生 など）や操作をしてしまうこともあり、活用を限定的にしていることもある。教材となるアプリケーションの模索、学校生活でのタブレット端末の活用方法については今後も引き続き検討が必要である。

人権（教育）について、本校では全学部・学年で系統立てて実施をしている。近年のSNS上でのいじめ事案等を鑑み、情報モラル教育の強化や道徳教育等を通して、自他の身体や心を大切にすることを学ぶ機会や取組を継続して計画・実施していく。

防災関係では、今年度浪速区役所との連携で避難訓練および講演会を実施した。避難後の対応についての課題等がわかった。来年度以降はその課題の改善・解決をしつつ、保護者・関係機関等と連携（検討）し、避難訓練の実施につなげたい。

【その他】

今年度同様、来年度も児童生徒数の増加が見込まれている。教室数の確保、教育環境の改善等の課題は今後も引き続き本校の課題のひとつである。